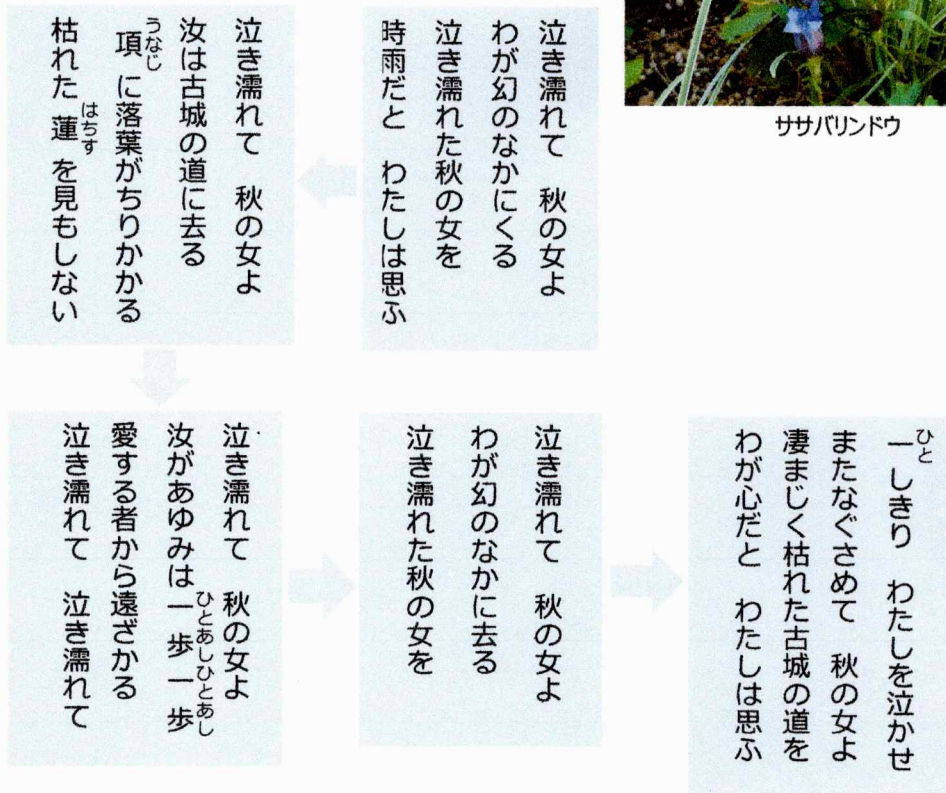


佐藤春夫作詩 『秋の女よ』

- 楽譜「カワイ出版 大中 恩 混声合唱曲集 I 秋の女よ」の巻末歌詞



サザリンドウ



➤ 『秋の女よ』 雑録

- 佐藤春夫詩集：寒蝉鈔『秋の女よ』では、上記の「落葉」が「柳葉」と記されています。大中 恩は、同詩集の中の『しぐれに寄する抒情』にも作曲しています。どちらの詩も大正末期の作品と見られています。
- この泣き濡れた秋の女は、谷崎潤一郎夫人の千代であると言われています。風雅では、以前、千代を歌ったと思われる『淡月梨花の歌』を取り上げました。選曲時は全く意識しませんでした。『秋の女よ』で、もう一度同じ女性に関わる歌を取り上げることになります。